



お母様の部屋には仏間を収める空間を確保。味わいを増した和筆筒などがシンプルなインテリアに調和し落ち着いた雰囲気。



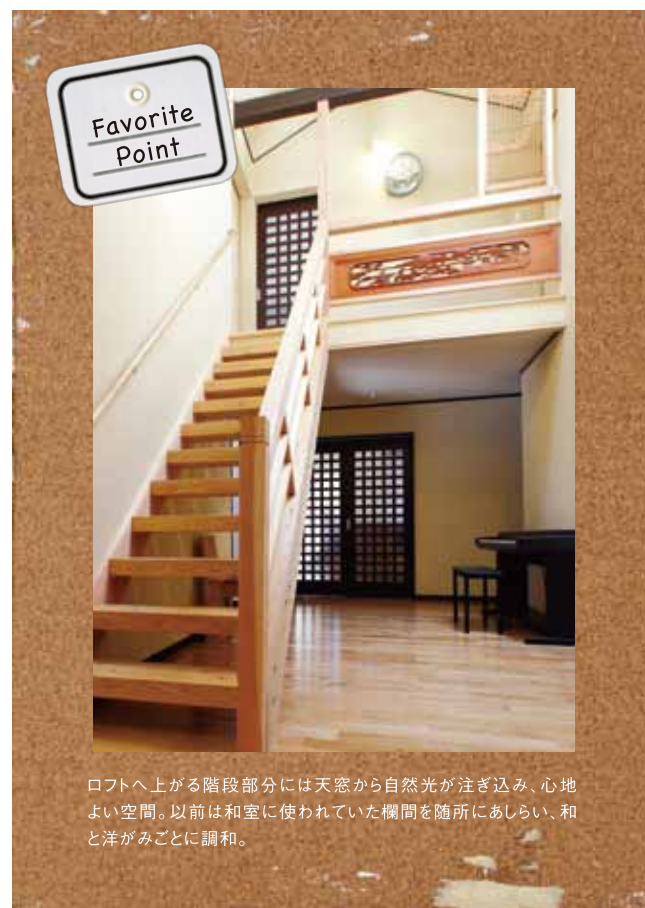
玄関から一步入ると、正面に大きな車輪のオブジェ。これは昔実際に使っていた荷車の車輪を赤に塗ってアレンジしたもの。全体的に和モダンのセンスが光るのがS様邸の魅力。



Reform Data

大川市 S様邸 (築30年)

一戸建て / 全面改装
 家族構成 / 40代ご夫婦、お子様2人、母、姉
 工期 / 約3か月
 金額 / 約3,000万円(税込)



ロフトへ上がる階段部分には天窓から自然光が注ぎ込み、心地よい空間。以前は和室に使われていた欄間を随所にあしらひ、和と洋がみごとに調和。

「母と姉との同居をきっかけに、リフォームに踏み切りました」と語るのはご主人のS様。もともとご母様とお姉様が住まわれていた実家へ、S様ご家族4人が引っ越すかたちで同居することになりました。リフォームに際してまず行ったのが、居室の全面配置換え。東側にあったLDと居間を思い切って西側に移動させ、家族が長く過ごす場所をもっとも心地よい空間にしようと考えました。

「もとの家は古い日本家屋だったので、自分たちの居室よりもまずお客様をお迎えする客間や和室を優先させた造りになっていました。でも、今回は家族団らんの場所を快適にしたいと思い、日当たりのよさや動線のことを考慮しながらリフォームしました。」

吹き抜けのLDKは、天井にかかる大きな梁が見事。屋根裏に隠れていたものをインテリアに工夫しました。「祖父が大工だったので、家の造りにもとことんこだわっていたようです。立派な梁を見つけたとき、ぜひこれをリビングのメインに据えたいと思いました。」

S様邸では、シンプルな風合いを保ちながらも、全体的に和モダンを演出。かつてわが家にあった欄間や梁を随所に組み込むことで、家族の歴史や思い出も活かされています。

居室を全面配置換え。
 LDをいちばん心地よい空間に

太くたくましい梁を
 メインに据えた和モダンの住まい



天井裏で見つけた梁を活かしてリビングとダイニングのメインに。対面式のキッチンが居室と一体化され、いつでも家族団らんが楽しめます。造りつけのカウンターは使い心地がよく家族に大好評。